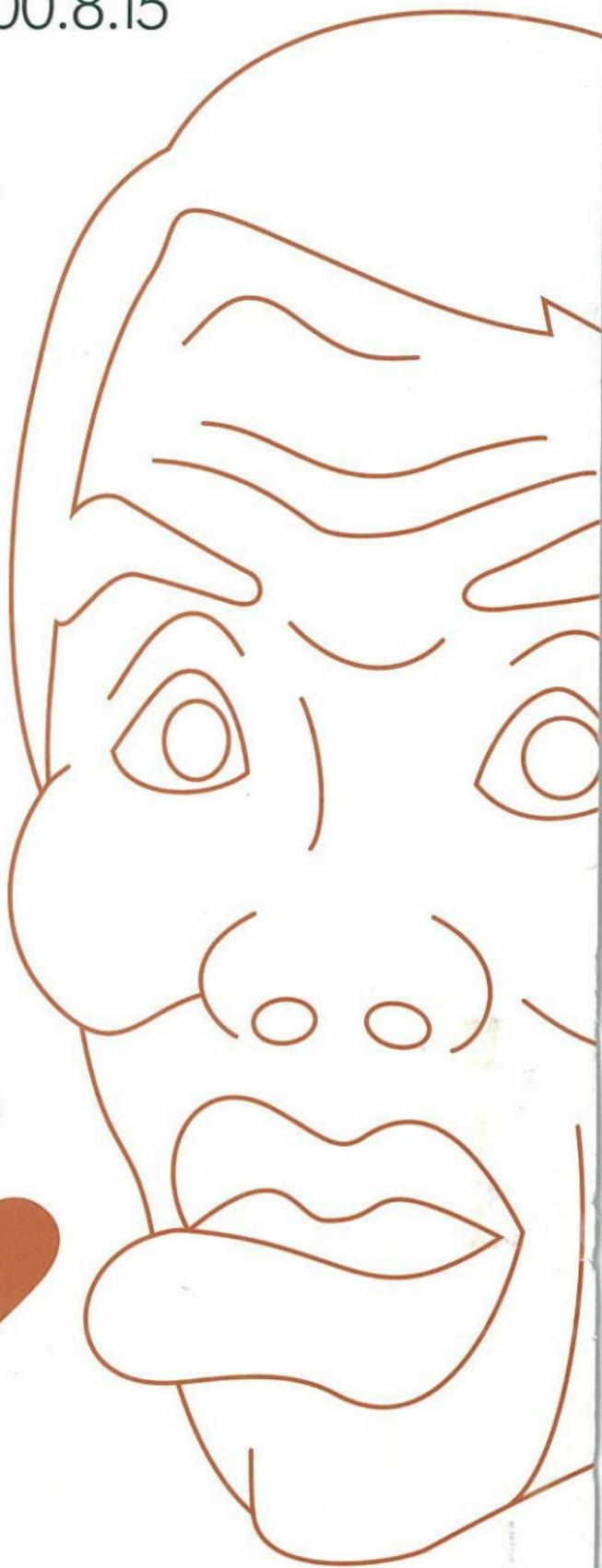


みずき会報

新潟国際情報大学みずき会
Vol.2 2000.8.15

お
い
す



発行:みずき会事務局

〒950-2292 新潟市みずき野3丁目1番1号 新潟国際情報大学内
TEL025-239-3111(代) FAX025-239-3690



学長
武藤輝一

本年3月、第3回卒業生の皆さんが社会人として巣立って行きました。第1回、第2回卒業生の皆さんもそれぞれの職場で大いに活躍中と聞いております。多忙な毎日の中で、大学や先輩、同級生、後輩、教職員の人たちの顔を思い浮かべていることでしょうか。辛い時、悲しい時、淋しい時には同窓の人たちと話し合ってください。電話をかけて下さい。きっと心が晴れるでしょう。

永い人生の中での僅か4年間でしたが、大学での一期一会は本当に大切なものです。卒業して職業が異なれば異なるほど、お互い役立ち力づけられることが少なくありません。大学を出て年月が立つほど感ずるものです。私は4月から学長として赴任したばかりですが、私にも大学生活がありました。卒業後の懐かしい思い出となっただけでなく、社会生活の中で自分の知らぬ事で同窓の方々にお世話になったことが少なくありません。また多少なりと同窓の方々のお役に立ったこともあります。理屈抜きに話し合えるのが同窓生であり、その場が同窓会であります。皆さんの同窓会です。大切に育てましょう。音信不通にならぬようご留意下さい。

卒業されて実社会で活躍中の先輩の方々の努力や実力が、結果としてその大学の評価を決定する基礎となることは申すまでもありません。幸い、卒業生の皆さんの職場での評価は高く、少子化社会の中にありながら、本学への入学希望者も多く就職率も良好であります。卒業生の皆さんにはできるだけ同窓会に出席していただくよう、また遠慮なく会報に投稿していただくようお願いします。同窓の集まりはいいものです。心置きなく話し合えるし、嬉しいし、時には涙の出ることもあります。ぜひとも同窓会を利用し、育てて下さるよう期待しております。

終わりに同窓会の皆さんの益々のご活躍とご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。

同窓会関東支部がついに始動!

去る5月27日(土)東京都新宿で関東支部発会式及び懇親会が行われました。

卒業生はおよそ30名が出席。また、現・旧職員の方々もたくさん駆けつけて下さいました。

総会で承認された関東支部長 清水公春さん(システム学科 1期生)の「頑張ります!!」の挨拶で支部役員の意気込みが伝わってきたように思います。

また、関根専務理事長、武藤学長より御祝いの言葉も頂き、集まった人たちもとても和んだ雰囲気でご会が進んでいきました。

仕事の都合で残念ながら出席することができなかった方も、**次回是非**ご出席下さい。

これからも会員の親睦・向上を図る為、本部・支部ともに、役員一同全力を尽くして事業をすすめていきたいと思っておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。



同窓会メーリングリスト開設か?

ご存知でしたか? みずき会メールアドレス

みずき会では会員の皆さんとコミュニケーションをとっていきたくと考えています。ご存知の方は少ないかもしれませんが、実はみずき会専用のメールアドレスがあるんです (^o^)/

dousou@nuis.ac.jp

みずき会について、これからこんな事やってほしい、こんな事が分からないなどのご意見を上記アドレスにお寄せ下さい。さらに近日中にはみずき会専用メーリングリストも開設の予定です。メーリングリスト開設に関するご意見・ご要望もお待ちしております。m(_ _)m

平成12年度 総会開催

平成12年度みずき会総会が6月24日(土)開催されました。

当日は、武藤新学長からもご出席いただき、約90名の出席者が、久しぶりに会う仲間や教職員の方々、初めて言葉を交わす人等々と、和やかな雰囲気の中、情報交換・近況報告に花をさかせていました。

今年出席できなかった方は次回は是非出席ください。とより一層の親睦を尚、総会の席上で、平成11年度事業・収支報告、平成12年度事業と収支予算(案)が報告され、承認されました。(次ページに記載)ので、皆さんお話し合ってください。

平成11年度事業・収支報告

【平成11年度事業報告】平成11年4月1日～平成12年3月31日

11年5月29日	役員会
11年6月26日	役員会
11年8月28日	役員会
11年9月4日	総会
11年9月	会報発行
11年10月16日	役員会
11年10月23・24日	文化講演会開催(紅翔祭)
11年11月27日	役員会
12年3月21日	卒業式出席(役員)
12年3月25日	役員会

【平成11年度収支報告】平成11年4月1日～平成12年3月31日

●収入 (単位:円)

項目	金額	備考
会費	7,380,000	246名入会分(平成10年度卒業生)
利息	6,184	
合計	7,386,184	

●支出 (単位:円)

項目	金額	備考
機関誌制作費	159,600	
総会費	55,862	会場費
文化講演会	85,312	紅翔祭文化講演会
通信・印刷費	406,240	切手・はがき・封筒・振込み用紙等
会議費	65,780	役員会・関東支部設立準備等
交通費・旅費	141,000	役員会・関東支部設立準備等
雑費	108,046	生花等
積立金	6,364,344	※別紙を参照下さい。
合計	7,386,184	

平成12年度事業・収支予算案報告

【平成12年度事業(案)】平成12年4月1日～平成13年3月31日

12年4月	役員会
12年5月	役員会
12年6月	役員会
12年6月24日	総会
12年7月	会報発行
12年9月	会報発行
12年10月	役員会
12年10月28・29日	文化講演会開催(紅翔祭)
12年12月	役員会
13年3月22日	卒業式出席(役員)
13年3月	役員会

【平成12年度収支(案)】平成12年4月1日～平成13年3月31日

●収入 (単位:円)

項目	金額	備考
会費	18,000,000	600名入会分
利息	10,000	
合計	18,010,000	

●支出 (単位:円)

項目	金額	備考
機関誌制作費	500,000	年2回
総会補助費	150,000	会場費・補助
事業費	300,000	紅翔祭文化講演会
通信・印刷費	550,000	切手・はがき・封筒・振込み用紙等
会議費	100,000	役員会
交通費・旅費	150,000	役員会・関東支部設立等
雑費	150,000	生花等
関東支部補助	300,000	支部会・役員会交通費
積立金	15,810,000	
合計	18,010,000	

野球部OB会しちゃいました。

野球部のOB会を平成11年11月13日に行いました。

今回がはじめてということもあり、手探り状態ではじまりましたが、時間がたつとともに、学生時代の雰囲気になってきて、とても楽しい時間を過ごすことができました。

OB会で野球チームを作るといことがあったのですが、あまりにも久しぶりだったので、そのまま2次会3次会とすすんで、目的をすっかり忘れて懐かしさにひたってしまいました。

今後の活動としては、年に1～2回は集まる機会を設けて、いずれはチーム結成という形をとりたいと思っています。

今回、幹事の私の手際の悪さで都合がつかずに参加できない人もいましたが次回は、皆の顔を見れたらいいと思っています。

それでは野球部OB会のみなさん、次回を楽しみにしてください!!

野球部OB 渡辺 勝義



中島 繁也 平成9年度情報文化学科卒(第1期生) 東京トヨペット(株)秋川店

今の私は、学生の頃想像していた社会人とはかなりかけ離れています。まず、日常的な生活面では、就職すれば当然残業もたくさんあるだろう、とは思っていましたが、毎日が残業で、定時はあってないようなものです。

そして、私の仕事は営業なので成果が上がらない時は、休暇もとりづらく、それでも用事があり休暇をとった日の翌日は出勤しづらいといった状況です。お客様中心の仕事ですので、もちろん決まった休暇はありません。よって、生活の全てが仕事中心というか、ほとんど仕事となり、アフター5を楽しんだり、プライベートを充実させたりというようなことが今ではできません。

休日の朝でも仕事の電話がかかってくるような今現在の生活の中で、何より励みになるのはお客様に信頼され、喜んでいただけた時です。

何度も訪問し、冷たく追い返されていた家の方がやっと話を聞いてくれるようになり、心を開いてくれ、中島さんならと車の購入を決めていただいた時、また、お勧めした車に本当にご満足いただけた時、この仕事を続けてよかったと思います。

日々、お客様から教えられ、時には怒られ、励まされながら仕事を続けていますが、さまざまなことを吸収し、一歩ずつでも確実に前進し、大きく成長していけたらと思っています。

あと、最後に社会人になるとさまざまなストレスが覆いかぶさってくるので、それを克服していけるような強靱な肉体と強い精神力、そしてその悩みを何でも相談できるような同期の存在が本当に必要だと心から思います。



丸藤 真帆 平成10年度情報システム学科卒(第2期生)

「目ん玉売れ!腎臓売れ!」でご存知?の商工ローン会社に勤めてはや8カ月。そんな取り立ては日常茶飯事……。というのは冗談で「大手商工ローン業者って怖いネー。」とつくづく思うほどまじめな商工ローン会社=東光商事(株)に勤めています。

皆さんは当社を知らないと思いますが、新潟駅を背にして万代橋から斜め前方に「とうこう」と見えるので機会があったら見つけてみてください。何かイコトがあるかもしれません。しかし私は営業店での勤務なので山形県の新庄市という所でがんばっています。

私の一日は川のほとりにいる野生のアヒルを眺め、「豊かだー、豊かすぎるー」と思いつながら出社することで始まります。(注:さすがに野生だけあって強靱なアヒルです。)

会社にはお父さん、お母さん、お兄さんのような上司がいるのでとても家族的な雰囲気です。「一から教わる」というよりも「一の前から教わる」という感じで、なんとまずは車の運転から教えてもらいました!(ペーパードライバーだったので…)仕事の面でも分からないことを聞くとも面倒くさからず丁寧に教えてくれるので上司には恵まれたと思っています。なんとカテレビCMでおなじみの「おーじんじ」はしなくてよさそうです。お客様も想像以上に良い方ばかりで安心しています。お客様のほとんどは小規模な経営とはいえず、やはり社長様なので話題も豊富ですし、いろいろな業界のお話を聞けるので楽しいです。

そして仕事を終えたらダンサーになります。というのは大げさなんですけれど、エアロピクスが私なりにかなりできています。「太り始めたし」とスポーツジムに通いはじめ、エアロピクスの先生と仲良くなったのがキッカケだったので、最初は踊っている自分が恥ずかしいのなんの&踊れていない自分が恥ずかしいのなんの!!しかし今となればエアロピクスなしでは私の社会生活を語れないというほど大切な仕事の一つです。

そして週末は実家で遊んでいるか、温泉王国山形ということで温泉に行っているか(山形県には全市町村に温泉があるんですよ♡)、仙台の十字屋&イービーズをふらついています。

とにかく私は本当にやばいほど平凡で健康的な社会人生活を送っています。

次回同窓会には出席したいと思っていますので楽しみにしています。皆さんも健康に気をつけてがんばって下さい。陰ながら応援しています。それでは……。

海老名 孝之 平成9年度情報システム学科卒(第1期生)

私は大学を卒業し新潟県内の企業に就職しましたが、入社して6カ月後、理想と現実とのギャップに耐えられず、出身地である山形県に戻ることに決めました。そして地元で再度就職活動を行い、現在の会社に出会うことができました。

今私が働いている会社は、山形県内を拠点とする科学機器の総合商社です。官庁や大学、電子・電気・薬品・食品メーカーなどの企業に、分析機器や計測器など、特殊・専門的な商品の提案を行います。私も今では、約20社のお客様の担当営業マンとして、充実した日々を送っています。昼間は、お客様に商品の提案を行い、お客様との会話の中で、景気の動向、各企業の動きや今後の見通しなど、いろいろな話を聞くことができるため、毎日いろいろなことを学んでいます。帰社後はお客様からの問い合わせの解答、見積作成、さらには会社のホームページの更新作業、ISO取得認証に向けての文書作成……。仕事はかなりボリュームがありますが、お客様・取引先メーカーとの価格交渉、納めた商品の故障、納期の遅れといった、トラブルを乗り越え、大きな注文をもらったときの充実感は何度味わってもいいものです。今私の一番の大きな物件は、ある企業の設備投資金額4000万円の話しがあります。このように、商品によっては金額が千万単位になることもあるため、以前の会社では味わうことができなかったであろう充実感、達成感を毎日体験しています。

最後に、これから就職をされる方、今や中小企業の時代です。地元の小さい企業、ベンチャー企業といわれる会社にも目を向けてみてはいかがでしょうか。会社の成長発展の一役を担う役割を十二分に感じ取ってみたいとは思っています。きつと将来性のある企業があるはず。自分を試したい人、きつと大きなチャンスになると思っています。

小さな会社ですが、キラリと光輝く会社。そんな会社で今働いています。

黒崎 資多右 平成10年度情報文化学科卒(第2期生)

実は、8月に失業者になりました。9月にはフリーアルバイトです。

電気工事の会社に勤めていたのですが、研修期間も終わりに差しかけた頃、研修先の現場事務所に通のFAXが送信されてきました。本社からの、倒産を告げる連絡です。その数日後、私は失業者になりました。

「仕事があるから」。そうあきらめていた新潟祭りの花火も見ることができました。大学の同窓会総会にも参加できました。しかし、気持ちは沈んでゆくばかりです。

いつか、自分の夢に向かって動き出そうと、仕事の合間をみつけて準備はしていたものの、あまりに急な出来事で何もできずにいました。その自分の甘さが許せず、自分自身を憎みました。しかし、自分を責めれば責めるほど、視野は狭められていきます。

そんな状況の中、友人、恩師、大学の事務の方々、その他多くの方の導き、力添えで、10月に再就職が決まりました。その後、今年3回目の引っ越しを終え私の長い夏休みは終わりを迎えました。

近況について、「今は元気になっています。」といった内容を書ければ良いのでしょうか、正直なところつい先日まで、引っ越したばかりのこの部屋と同じように、精神面においても落ち着きを取り戻せずにいました。そのため、さまざまな方に心配、迷惑をおかけしました。

それでも、今回この投稿した文章を書き直すうち、ようやくこれまでの、そして今の自分を客観的に見つめられるようになってきました。随分と回り道してしまいましたが、ここから私の新しいスタートです。自分の目指す未来に向けて進んで行きます。

以上が私の失敗談であり、得た糧です。皆さんの参考になるかはわかりませんが、まあ、お互い、それぞれの人生の出来事を楽しみながら乗り越えていきましょう。



る、2、3、4年次でやりたい人もそれを続けられると、その上で英語の勉強、その他の勉強もできる、というふうにしようと思っています。それは今まで英語はできないということで非常に残念がる学生がいたので、しかもCEPは今までのように文法をやるとか、文学作品を読むとか、そういうことではなくて、いかにして日本語圏以外の人々と、英語圏に限らず、コミュニケーションをとれるかと、そういう技術を身につけるための英語です。ですから、いかに今までの文法中心とか、作品を読むとか、そういったことではなく、いかに話をし、いかに話を聞けるか、自分の意思伝達ができるか、相手の意思を受け入れられるか、というコミュニケーションの技術としての英語を勉強しようということです。もう一つは、大学は一年生の時から小人数のゼミを行っていますので、それをもっと充実させようということです。その三つが大きな柱です。

Q6年間で大学の周りの状況に何か変化はありましたか？

新潟国際情報大学は、地域の人々、地域社会にとって大学に対する評価が一応固まってきたのではないかと思います。

—1、2期生と今の学生に何か違いはありますか？

設立当初の学生は第1期生だという自覚が非常に強かったと思います。2期3期、4、5期となるに従って、(その意識が)だんだん薄れているような感じがします。1期生というのは本当に我々もどういう大学にすべきかと試行錯誤している段階で、学生自身も何とか自分達の手で大学を作り上げるんだ、というそういう意識が非常に強かったと思います。特に4年生まで揃った段階で入学してきた学生というのは形の上で一応出来上がっているわけですね。ですからその面では意識はだいぶ違うな、という感じはしますね。だから、1期生、2期生、3期生というのはある面では気の毒だったし、基礎を築くという面ではやりがいがあったと思います。

Q卒業生との思い出はなにかありますか？

やはり教師冥利に尽きますが、卒業生からたまに電話がかかってきたり、部屋を訪ねてもらったり、卒業生と飲み会をしたり、そういうのがたまにありますけど、そういう時に「ああ、学生時代と随分変わったな」とかね、そういう姿に接することができること、それがとてもうれしいことです。

—けっこういらいしゃいますか？

けっこうね。「こっちの方に仕事で来たのでちょっと寄ってみました」とかね。今回はちょっとできなかったんだけど、毎年何人かと忘年会をやったり、それから2期生だったかな？まだ5月の連休明けてまだ卒

業したばかりだけど、けっこう帰ってきた人達と飲んだりしたことがありましたよ。みんな大変みたいですね。そういう話がとても多いですね。—そうですね。4年間の体に染み付いた学生生活を社会に出てきちんとした生活にするのが大変ですね。

Q卒業生に関わらず社会人などに対して何か講座などは行っていますか？

私はウーマンカレッジとか映画の講座とか、それから地域で色々な会合がありますよね。たとえばロータリークラブですとかその他色々あるんですよ。そういうところで呼ばれて話をするとかですね。いろいろそういう活動はしています。やはりうちの大学はまだ地域社会には知られていないですからね。だから大学と地域社会と接点を持つということはとても大切なことだと思います。うちの大学の宣伝の意味でもね。それともう一つはやはり今までの大学というのは大学の中に閉じこもっているのは駄目だ、ということが通常のスタイルになってきましたよね。地域も大学を活用すべきだし、大学側も地域の人々と接するべきだというそういう時代になっていると思うので、これから地域と大学との結びつきというものがもっともっと強くなっていかないといけないと思いますし、それから我々大学の人間も意識的にそういう方向にもっていかないといけないと思います。特に最近、生涯教育ということで市民が大学を利用しながら生涯教育の一つの活用の場として位置付けようとする意識が段々出てきているような感じがします。

Q最後になりましたが、卒業生達にメッセージを

大学4年間を忘れないで、それをもとに新潟国際情報大学の卒業生として社会に見られているわけですので、その自覚を常に持って大学を、社会生活を意識しながら生きていってもらいたいと思います。それから、情報文化の学生にとっては今後の国際化に4年間学んだものを活かしてもらいたいし、システムの学生に対しても同じように、情報化の時代に、大学で学んだものを活かしてもらいたいと思います。たまには大学に寄ってみるとか、仲間同士や先生方と会ってみるとか、そういう機会を作ってもらえるとありがたいです。そういう意味で同窓会の活動がどんどん活発になると、そういうこともやりやすくなるかと思いますがね。

(インタビュー：若月社)

※このインタビューは平成12年3月に行われたものです。

「留学生制度などのカリキュラム改訂について」

Qまずは留学制度の概要についてお願いします。

当時からですね、大学は国際と情報というキーワードでできた大学ですので、その国際という分野をどういう風に広めるか、そういうことをずっと考えてきました。今度大学が4年を過ぎまして、自分達で自分達の方針を、まあ、構想段階から比べるともう10年くらい経っているわけで、どういう風に国際の分野をたかめていくか？をいろいろ考えまして、その中のひとつにずっと前から問題になっていた留学生制度をうちの大学でも作ろう、ということになりました。それで、文化学科の場合は、英語・ロシア語・中国語、そして今はコリア語ですが新しいカリキュラムでは韓国語になります。その4つの言語を勉強していますので、それを母国語としている国々、あるいは地域へ出かける留学制度を作ろうと、ということになりました。それで新潟国際情報大学は外国語大学ではないので、言葉の勉強と同時に地域の勉強もします。しかも、4年で卒業するという、そういう枠の中で留学生制度をどういう風に組み立てていくかということがとても問題になったんですけども、それから留学するには費用の面も考えなければいけないということがありまして、一応アメリカに関してはかなり費用が高いということを考えて、2年次の夏休みに5ないし6週間アメリカに行って、英語とその地域あるいはその国の文化を勉強すると、それから、ロシア、中国、韓国については、2年次の後期、およそ5ヶ月それぞれ出掛けて同じように言葉とそれからその地域の、あるいはその国の文化、経済、その他もろもろの勉強をしよう、ということです。将来的には必修にということにしたいと思えますけれども、大学では留学生制度の経験がないものですから、当面、パイロットプログラムとしてやっつけていこうと。そしてその中で希望者が行き、そして色々なノウハウを積んでゆくゆくは全員が行けるような形に持っていきたいというのが希望です。それで、留学制度というと、留学生を受け入れるということと、それから派遣するという2つのことが考えられます。けれども当面は、派遣するというので制度化しようというふうに考えています。それでその留学する際に、相手の大学と何らかの形で提携関係を結ぶということを大前提にしています。それは、やはり、見知らぬ土地での生活となりますので、やはり相手の大学側からかなり派遣する学生に対する配慮をしてもらわないといけない。それから、もちろん、当然4年で卒業ということが前提ですから、留学をした場合の単位の問題、こういっても相手校とよく話し合いをして、それで実現していこうというふうに思っていますので、アメリカに関しては、いまのところ言葉の勉強が主体です。提携校においては、それからロシア、中国、韓国については言葉とそれから文化、経済、歴史とか色々考えられますが、講義科目も

一緒にやるというふうに考えています。現在のところ、中国は北京国際大学の歴史学部と提携関係を結んで留学先にしようと思っています。それからロシアについては、ウラジオストクにあります極東国立総合大学を提携校にするということで、両方の大学と今までの話し合いで提携関係を結ぶという原則的な合意は今できています。それで具体的な話し合いを進めているところです。それから韓国とアメリカについては、今、相手校を探している最中です。韓国については幾つか候補校が挙がっていますが、まだ具体化はしていません。アメリカについては、来年度からそろそろ相手校を探すという作業に入ろうというふうに考えています。それで一番重大な関心事は、実際に行くとなると、お金の問題、経費の問題が出てきますけれども、今まで大学側(法人側)との話し合いでは、まだ最終決定ではないですけれども、私達の学生は入学する際に授業料を払っているわけです。だから授業料については2重取りはできないと。そのかわり、生活費あるいは旅費などは自己負担してもらおうという考え方で進めています。ですから、ロシア、中国、韓国については、大体計算してみますと25万から35万、平均30万位が自己負担ということになるのではないかと思います。

Qどのような学生に育ってほしいですか？

うちは外国語大学ではありませんから、言葉の勉強をするだけでなく、それぞれの地域、異文化と言っていますけれども、それを実際に体験してもらおうということがとても大事なんですね。それで今まで何回か、海外派遣研修をやっていますけれども、そういった生の中にごく動機付けを与えたり、それからその地域、あるいはその国に対する関心が非常に高まったりして、まあ何人か個人的に留学する学生が出てきていますので、そういった言葉と異文化に対する動機付け、そういったところが期待するところです。実際に暮らしてみることが言葉の理解、文化の理解にとって大変重要な意味を持つと思いますので、アメリカの場合5から6週間、その他の国の場合5ヶ月くらいの生活体験というのは、若い時代に大変有意義だろうと思います。

Q留学制度以外のカリキュラム改訂もあるようですが？

カリキュラム改訂のもう一つの大きな目標は、今まで英語は、もし他の外国語を取ると英語の勉強ができないという形になってしまっていたけれども、今度のカリキュラム改定では、1年次にコミュニケーションングリッシュプログラム、CEPと訳していますが、それを1年次に必修とす

あなたの投稿を お待ちしております

みずき会通信では、同窓会の皆さんの投稿を募集しています。最近気になることや会社でのエピソード・近況報告など、どんなことでも構いません。下記の要領でみずき会事務局へお送り下さい。皆さんのご投稿をお待ちしています。

- 内容 / 400字詰め原稿用紙1~3枚程度
(できれば写真も同封下さい)
- 送付先 / 住所、氏名、在学中の学科・卒業年を明記の上
〒950-2292 新潟市みずき野3-1-1
新潟国際情報大学内 みずき会事務局行

※Eメールでのご投稿も受け付けております。

dousou@nuis.ac.jp



住所変更を お知らせ下さい

同窓会事務局では、今後同窓会名簿を発行していく予定です。

そこで、現在既にご住所が変更になっている方、転勤やご結婚などでお引越しのご予定のある方は、同窓会事務局宛てに住所変更をお知らせ下さい。ぜひ、ご協力をよろしくお願い致します。



編集後記

めっきり夏らしくなってきたと思ったとたんに梅雨になってしまったので、じめじめとお過ごしの方も、もしやおいでかと余計なことを思いつつ…
巷間すっかりとミレニアムなどという言葉がなりを潜め、F-1グランプリもついこの間開幕したと思っていたら、すでにシーズンの半分を消化しています。興味のない人は、「ああ、しょうか…」などと聞き流すかもしれませんが、まあ、それはそれでまったく問題はなく、ただ、時の流れの早い事をそこここに感じながら…
ところでそろそろビアガーデンのシーズンですが、皆さんお薦めのビアガーデンなどあればぜひご一報を。必ず調査に行く予定です。いや、行きます。

同窓会役員 高橋 毅 若月 社 増田英樹 山田雅美
田中優子 坂井美鈴 渡辺勝義 北原理恵

